



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社ファインズ 上場取引所 東
 コード番号 5125 URL <https://e-tenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三輪 幸将
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 芝田 茂樹 TEL 03 (5459) 4073
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,843	—	61	—	67	—	43	—
2025年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 43百万円 (—%) 2025年6月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	9.84	9.67
2025年6月期第3四半期	—	—

(注) 2026年6月期当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年6月期第3四半期の対前年四半期増減率、2025年6月期第3四半期の数値及び対前年第3四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	3,486	2,199	62.8
2025年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 2,188百万円 2025年6月期 ー百万円

(注) 2026年6月期当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年6月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年07月01日～2026年06月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,747	—	131	—	136	—	81	—	18.33

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2026年6月期当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載を省略しております。

3. 連結業績予想につきましては、2026年5月15日の「連結決算移行に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
 新規 2社 (社名) 株式会社オルプラ、株式会社Nexil
 除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	4,661,100株	2025年6月期	4,652,400株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	193,600株	2025年6月期	129,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	4,467,019株	2025年6月期3Q	4,636,243株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年5月15日(金)にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<https://e-tenki.co.jp/>)にも掲載いたします。また、決算説明会は、当社ウェブサイト動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(連結範囲の重要な変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	9
(企業結合に関する注記)	9
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、株式会社オルブラ、株式会社Nexilの株式を取得し連結の範囲に含めたため、当第3四半期連結会計期間より当第3四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の継続的な高まりにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化する諸外国での紛争や地政学的リスクの増大は、エネルギー・資源価格の高止まりや供給網の不安定化を招いており、国内の物価上昇圧力として依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下においても、当社グループが身を置くDX（デジタルトランスフォーメーション）市場は、2030年に9兆円（注）を超える規模に達すると予測されており、社会全体の効率化・省人化ニーズはかつてないほど高まっております。

当社グループは、2026年6月期より新たなパーパスとして「企業と地域社会の未来に、テクノロジーの追い風を。」を掲げ、全社一丸となってパーパス経営に取り組んでおります。

特筆すべき事項として、当第3四半期連結会計期間より、2026年2月に完全子会社化した株式会社オルブラおよび株式会社Nexilを連結対象に加えております。これにより、従来の「動画を起点としたマーケティングDX」に加え、両社が有する強力な集客ノウハウと人材紹介の知見を融合させた、新たな「人材プラットフォーム」の形成に着手いたしました。

今後は、当社グループのWebマーケティング知見と子会社2社の採用支援ノウハウを掛け合わせ、AI技術を活用した次世代型のRPO（採用プロセスアウトソーシング）サービスの提供を加速させてまいります。これにより、人手不足が深刻な課題となっている中小企業・個人事業主の皆様に対し、デジタルとリアルの両面から経営課題を解決する「総合DX支援企業」として、更なる収益成長と企業価値の向上を目指してまいります。

当第3四半期連結会計期間においては、HP制作やRaise関連サービス等の販売に注力したことで、一時期は順調な推移となっていたものの、セールスコンサルタント数の減少などにより売り上げが伸び悩みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,843,511千円、営業利益は61,568千円、経常利益は67,839千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は43,944千円となりました。

当社グループは、「すべての中小企業のDXをサポートする」を新しいミッションとする中期経営計画（2024年6月期～2026年6月期）を策定いたしました。これまでの「動画を起点としたマーケティングDX」を多くの中小企業・個人事業主の皆様にご提供し、活動の支援を行っていくとともに、DXを実現するためのソリューションを拡大させてまいります。

（注）「2025 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」富士キメラ総研

(2) 財政状態に関する説明

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,486,799千円となりました。

流動資産は2,285,710千円、固定資産は1,201,089千円となりました。

流動資産の主な内訳は現金及び預金が1,815,492千円、売掛金が375,825千円です。

固定資産の主な内訳はのれんが843,842千円、建物付属設備が75,296千円、工具、器具備品が12,528千円です。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,287,316千円となりました。流動負債は664,462千円、固定負債は622,854千円となりました。

流動負債の主な内訳は契約負債が159,668千円、未払費用が135,201千円、1年以内返済予定の長期借入金112,960千円となりました。

固定負債は、長期借入金622,854千円となります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,199,482千円となりました。

内訳は資本金が235,943千円、資本剰余金が225,943千円、利益剰余金が1,826,911千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月15日の「連結決算移行に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想をご覧ください。

なお、当該連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,815,492
売掛金	375,825
仕掛品	13,726
前払費用	44,210
未収還付法人税等	14,904
その他	30,966
貸倒引当金	△9,416
流動資産合計	2,285,710
固定資産	
有形固定資産	
建物附属設備(純額)	75,296
工具、器具及び備品(純額)	12,528
有形固定資産合計	87,825
無形固定資産	
のれん	843,842
ソフトウェア	28,476
ソフトウェア仮勘定	11
無形固定資産合計	872,330
投資その他の資産	
敷金	160,951
破産更生債権等	20,954
繰延税金資産	76,361
その他	3,620
貸倒引当金	△20,954
投資その他の資産合計	240,933
固定資産合計	1,201,089
資産合計	3,486,799

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2026年3月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	46,778
1年内返済予定の長期借入金	112,960
未払費用	135,201
未払法人税等	17,473
未払消費税等	25,131
契約負債	159,668
預り金	12,546
賞与引当金	43,479
その他	111,224
流動負債合計	664,462
固定負債	
長期借入金	622,854
固定負債合計	622,854
負債合計	1,287,316
純資産の部	
株主資本	
資本金	235,943
資本剰余金	225,943
利益剰余金	1,826,911
自己株式	△99,989
株主資本合計	2,188,807
新株予約権	10,674
純資産合計	2,199,482
負債純資産合計	3,486,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,843,511
売上原価	357,433
売上総利益	1,486,077
販売費及び一般管理費	1,424,509
営業利益	61,568
営業外収益	
受取利息	4,242
受取補償金	4,457
その他	407
営業外収益合計	9,107
営業外費用	
支払利息	2,316
株式交付費	191
支払手数料	318
その他	10
営業外費用合計	2,835
経常利益	67,839
特別利益	
新株予約権戻入益	2,281
特別利益合計	2,281
特別損失	
固定資産除却損	197
特別損失合計	197
税金等調整前四半期純利益	69,923
法人税、住民税及び事業税	48,607
法人税等調整額	△22,629
法人税等合計	25,978
四半期純利益	43,944
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,944

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	43,944
その他の包括利益	
四半期包括利益	43,944
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	43,944
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間より、株式会社Nexil及び株式会社オルプラの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	22,391千円
のれんの償却額	13,679千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

当社は、「Videoクラウド事業」を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社の売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、財又はサービス別に分解した情報は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	Videoクラウド事業	その他
売上高		
Videoクラウド	1,296,850	—
DXコンサルティング	500,219	—
店舗クラウド	—	46,441
顧客との契約から生じる収益	1,797,070	46,441
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	1,797,070	46,441

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、店舗クラウド事業が含まれておりません。

(企業結合に関する注記)

取得による企業結合

当社は、2025年12月26日開催の取締役会において、株式会社オルプラ及び株式会社Nexilの株式を100%取得し子会社化するため株主との間で「株式譲渡契約」を締結することについて決議し、株式会社オルプラは2026年1月30日付、株式会社Nexilは2026年1月16日付で全株式を取得し、子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社オルプラ、株式会社Nexil

事業の内容：人材紹介

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社オルプラと株式会社Nexilの集客ノウハウと当社のWeb マーケティングの知見を融合し、年間120,000名超が利用する新たな人材プラットフォームの形成を目指すことにより、若年層・エッセンシャルワーカーの転職支援市場におけるリーディングカンパニーを目指してまいります。また、2社の採用支援の知見と当社のDX支援の知見を融合させることで、AI技術を活用しながらお客様の採用プロセス全般を支援する最新のRecruitment Process Outsourcingサービスの提供等、新しい取り組みを進めることも可能となり、3社の更なる収益成長にも資するものと考えております。

(3) 企業結合日

株式会社オルブラ：2026年1月30日（みなし取得日2026年2月28日）

株式会社Nexil：2026年1月16日（みなし取得日2026年2月28日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後の企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

株式会社オルブラ：100%

株式会社Nexil：100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 第3四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間に係る第3四半期連結損益計算書及び第3四半期連結包括利益計算書に同社の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

		株式会社オルブラ	株式会社Nexil
株式取得の対価	現金	480,000千円	550,000千円
取得原価		480,000千円	550,000千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

	株式会社オルブラ	株式会社Nexil
アドバイザー費用等	38,200千円	35,052千円

5. 取得関連費用の金額及びその表示科目

当企業結合にかかる取得関連費用は73,252千円であり、第3四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に計上しております。

6. 発生したのれんの金額及び発生原因

(1) 発生したのれんの金額

株式会社オルブラ：312,141千円

株式会社Nexil：472,422千円

なお、のれんは当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

企業結合時の取得原価が、受け入れた資産および引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして計上しております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

株式会社オルブラ：定額法、10年

株式会社Nexil：定額法、10年

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

	株式会社オルプラ	株式会社Nexil
流動資産	224,748千円	190,711千円
固定資産	5,506千円	30,366千円
資産合計	230,255千円	221,077千円
流動負債	58,807千円	99,236千円
固定負債	3,590千円	44,264千円
負債合計	62,397千円	143,500千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。